

## 堺市指定管理者評価表

( 評価対象期間： 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで )

## 1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立みはら歴史博物館(愛称:M・Cみはら)	
(2) 施設の設置目的	
美原区の区域における歴史、風土等に関する資料を収集し、保管し、展示して市民の利用に供し、その教養の向上と文化の発展に寄与するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 歴史遺産活用部 博物館 学芸課	
(4) 指定管理者名	
アクティオ株式会社	
(5) 指定期間	
令和 2 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで ( 5 年間 )	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の運営に関する業務</li> <li>・ 施設等の維持管理に関する業務</li> <li>・ 学芸に関する補助業務</li> <li>・ 歴史文化事業の実施</li> <li>・ その他</li> </ul>	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 開場時間	(10) 休館日
9時00分から17時15分まで (ホールの利用が有る場合は21時00分まで) 展示室:9時30分から16時30分まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月曜日(祝日のときは開館し火曜日休館)</li> <li>・祝日の翌日(土曜・日曜日、祝日のときは開館)</li> <li>・年末年始</li> </ul>
(11) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	

次頁以降の各管理運営状況の取組評価については、以下の評価基準により評価を行う。

評価基準	a	要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
	b	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
	c	要求水準を下回る管理運営がなされている
	d	要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている

## 2 管理運営状況

## (1) 適正な管理運営の確保

## ア 取組評価

	指定管理者	市
市民の平等利用や日常の事故防止、当該業務において回避しなければならないリスクに対して、回避するための具体的な方策を講じているか。	b	b
防犯、事件事故及び災害の発生時又は発生に備えた対応が適切であったか。	b	b
利用者の個人情報の取扱いや情報管理体制は適切であったか。	b	b
仕様書等で定めている人員配置(障害者、高齢者等)は、適切に為されているか。	b	b
人材育成の方針や研修計画等に基づいて、職員の資質や能力の向上を図るために必要な研修を適切に実施していたか。	a	a
施設の設備、器具備品は、適切に管理していたか。また保守点検や法定点検は、適切に実施していたか。	b	b
施設の設置目的や市が定める各種計画等に則って施設の管理運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、設置目的に沿った成果を得られたか。	b	b
利用者への情報提供、広報が適切に行われているか。また効果があったか。	b	b

## イ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
全ての項目において要求水準を満たしていない事項はない。研修については要求水準以上を実施している。	職員を適正に配置し、研修による職員の育成や、利用者からの意見についての適切な対応など、安全・安心に利用できる博物館の管理運営ができた。また、市や他施設と連携した事業の実施を行い、施設の魅力向上に繋がる施設運営ができています。

## (2) 利用者サービスの向上

## ア 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	アクティオ株式会社	アクティオ株式会社	アクティオ株式会社
利用者数(単位:人)	55,754	48,835	49,512
稼働率(単位:%)	33.3	32.5	33.7
利用者満足度(単位:%)	80.8	79.8	80.9

## イ 取組評価

	指定管理者	市
利用者が利用者しやすい料金の設定や利用区分になっているか。	b	b
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	b	b
利用者からの苦情、要望への対応が適切に行われ、また、利用者の意見を施設運営やサービスに反映させる取組がなされたか。	b	b
自主事業の実施など施設の設置目的の範囲内で、サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされたか。	b	b

## ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
歴史文化事業について目標以上の回数を実施することで、リピーターの満足度を高めたことから、アンケートにおいておおむね好意的な意見を得ることができた。また、ホールの利便性をアピールして新規利用者を得たため利用者数が改善した。	歴史・文化に関する講演会の他、子どもを対象としたイベントや音楽・映画鑑賞などの多様なイベントを実施することにより、利用者満足度は8割を維持できている。また、施設の稼働率は、ホールの使用についてPRすること等により同水準を維持し、目標水準を上回った。

## 2 管理運営状況

## (3) 収支

## ア 収支状況

(単位:円)

## ■指定管理業務

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
指定管理者名		アクティオ株式会社	アクティオ株式会社	アクティオ株式会社	アクティオ株式会社
収入	指定管理料	40,792,975	40,950,235	40,950,948	40,900,094
	利用料金	1,551,855	1,512,200	1,564,060	1,450,000
	負担金	0	0	0	0
	その他	12,039	290,405	4,821	0
合 計		42,356,869	42,752,840	42,519,829	42,350,094
支出	人件費	19,695,181	20,009,053	20,343,186	17,458,000
	委託料	7,211,438	7,224,454	7,191,388	8,889,000
	総支出額に占める 委託料の割合	16.9%	17.2%	17.0%	21.0%
	修繕費	850,322	1,145,100	637,780	700,000
	光熱水費	5,190,346	4,456,916	4,755,003	5,362,094
	その他	9,694,359	9,137,292	9,466,684	9,941,000
合 計		42,641,646	41,972,815	42,394,041	42,350,094
収支差額		-284,777	780,025	125,788	0
(市への納付金の額)		-	-	-	-

## ■自主事業

(有)

(単位:円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
収 入		89,120	62,660	101,050	346,500
支 出		217,332	54,284	108,971	327,860
収支差額		-128,212	8,376	-7,921	18,640
(市への納付金の額)		-	-	-	-

## イ 取組評価

	指定管理者	市
施設の管理運営に関し、経費を縮減するための十分な取組が図られているか。	b	b
収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	c	b
当初の収支計画どおりに適切、適正に予算執行がなされているか。	b	b
経理事務は適正に行われているか。	b	b

## ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
大きな事故や苦情もなく安定的に管理業務を実施できたが、収入増につながる自主事業については、諸経費の高騰により収支を改善することができなかった。	ホールの使用についてのPRを行ったこと等により、ホールの使用件数が増え、ホール使用料の収入が前年度より増加したことから、利用料金収入は過去2年間で最大の収入額となった。 また、自主事業については、事業実施に必要な材料費の物価高騰等のため支出が多く、収支がマイナスとなったものの、ワークショップの実施等、利用者サービスの向上に向けた取組を行った。

## 3 目標管理、総合評価

## (1) 目標管理

## ア 市が仕様書で定める目標の達成状況

## ■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
展示室観覧者数	年間5千人以上	4,945人
ギャラリースペース観覧者数	年間2万2千人以上	28,154人

## ■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
ホール稼働率(適正な管理運営の確保)	年間25%以上 年間8千人以上	34% 16,413人
歴史文化事業実施回数	年間32回以上	48回

## ■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	年間1,100千円以上	1,564,060円

## イ 実績に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<p>ギャラリースペースにおいてシームレスに展示を行うことで観覧者数を増加させた。目標には僅かに達しなかったが、これに連動して展示室の観覧者数を上げることができた。引き続き安心・安全な施設運営に努め、より魅力的な事業の企画・実施を図る。また、快適に観覧できるよう、環境整備に努める。</p>	<p>展示室観覧者数は僅かながら目標を達成できなかった(目標の約99%)ものの、他の指標は全て目標を上回る実績である。特にホール利用者数は、目標の2倍以上の利用者数を達成することができている。</p>

## (2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心な管理運営に努め、大きなトラブルもなく事業計画どおり、ほぼ順調に事業活動を行うことができた。</li> <li>ホール利用についても新規利用者の獲得もあり、それに伴い利用料収入も目標金額以上の水準に達した。</li> <li>展示室については展示物の更新が行われなかったため、展示室観覧者数が僅かに目標水準に達しなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心な施設の管理運営ができており、事業の実施については、博物館としての専門的な歴史講座に加え、市民コミュニティとしての娯楽的なイベントとしてコンサートや映画、子ども向けのイベントの開催など、多様な世代が興味を持つ事業を行うことができています。</li> <li>その結果、仕様書で定める目標をおおむね達成し、利用者満足度は8割を維持し、施設の魅力向上につながる施設の運営ができています。</li> </ul>

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの